

公民館だるり



第135号

平成26年7月15日

編 集 発 行: 上野西部公民館 在 地: 伊賀市上野福居町

Tel • fax 0595-23-9779

上野あ部地区の人口 世帯数 1,480 人口 3,370 人(内男 1,603・女 1,767) 26.5.31 現在

伊賀市消防団上野中分団 合同訓練が開催されました



平成25年9月15日未明台風18号によ り 往古川が氾濫 福居町・幸坂町の一部 が冠水の被害が発生しました。台風の被害 に備えて 木津川排水樋門(往古川下流) 前で訓練が行われました。

往古川増水を想定しての水防訓練で 土嚢 の作り方・設置の方法や救助訓練などが行





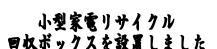




公民館だよりを新しくなった

ホームページで ご覧ください。

利用の方法 『上野せいぶ』で検索 検索結果から 上 野西部地区住民自治協議会の項目を クリック 上野せ いぶのトップページが表示されます。(ホームページアド レス http://www.uenoseibu.com/) 次に せいぶに暮ら すをクリック 表示された画面の右側中ほどの 「ニュ ースペーパー]**公民館だより**をクリックしてください、 又は左側最下の公民館だよりをクリックしてください、 第70号からカラー版をご覧いただけます。





▶伊賀市の文化財

上野西部地区編 No. 1 3

伊賀市教育委員会発行

"伊賀の文化財"より







人権啓発地区草の根運動推進会議連絡会の先進地視察研修会



6月25日(水)上野地区で組織する21地区の人権 啓発草の根運動推進連絡会議43名の参加で実施され 当地区からは3名が参加した。

視察先は、羽曳野市向野地区で、羽曳野市人権文化センター到着後、NPO法人サポートネットワークぬくもり塩谷さんの案内で地区のフィールドワークを行った。 ミートセンター→共同浴場ひかり湯→埴生診療所(病児保育園)→西称寺→向野御苑→老人憩いの家と順に見学

した。

昼食後案内いただいたNPO法人サポートネットワークぬくもり理事長の塩谷幸子さんから自分自身の体験を交えた講話があり、三重県の副読本せいかつに私の体験談が掲載されていることや、地区の6割の方々が食肉産業に関係する仕事をしているなどお話があった後、ミートセンターの事業を中心としたビデオ「命つながれ」を見て解散となり、帰路についた。





健康的分一等目的

(上の写真ご希望の方は公民館へ申込んで下さい)

上野西部地区住民自治協議会 健康の駅長



6月15日(日)募集人員を大幅に超える申込にバスの手配など苦慮しましたが、54名が 梅雨とは思えない上天気の中、鬼ヵ城へ出発しました。奇岩を見物休憩の後、松本峠越えに 予想を超える急な石畳と蒸し暑さは 高齢者には応えましたが、無事踏破し 木本神社へ到着。昼食のおにぎりのおいしかった事(空腹でした)。後半は 海岸線を 獅子岩を見ながら花の窟神社まで 歩きました。神社へお参り後 帰路につきましたが、途中のお土産の買い物も 楽しいひと時でした。











煌星似句会(大野利江選評)

せせらぎのリズムに令はせ蛍舞ふ 谷 12

恂

乱舞が見える。 まことに詩的な一句。せせらぎが聞こえ蛍の 夜の美しい舞台である。

の澄みわたる声風に解け

过野和彦

心の憂も解け爽やかなとても気持の良い句。 澄みわたる声で大景が思われる。

草 水に顎出し五豚ぐ

田

畑

寬一

顎出し立泳ぐである種の不安感が感じられる。 人間社会の不安定さも詠われている。

薔薇散って貝殼めける五六片

百上進一

美しい。詩的眼力の鋭い作者の瞬間芸 薔薇の花片が貝殻と。どちらの素材も



豆ごはん甘さ暑さをいただけり

あると。自分の身に若さをいただきたいと。 豆ごはんに甘さを感じられ、甘さは若さで

蓑虫庵茶会や沙羅の花盛ん

函

村郁子

沙羅の花が相応しい朝粥の茶会であった。

、朝茶のむ僧静 也菊の花 芭蕉) がある

黒土をもて巣繕ふ蕪か な

富

田まり

黒土の方が強いとして繕う燕のかしこさ。 繕って使うという謙虚さも教えられた。

水させばどのあぢさゐも水化粧

厳本稔恵

あじさゐに水を差しやると生き――美しくなる。 水化粧の耳新しい言葉が新鮮





安屋宣子